

12月1日(月)

栄光に変わる恥

聖書朗読 ヨハネ 19:23~27

さて、兵士たちは、イエスを十字架につけると、イエスの着物を取り、ひとりの兵士に一つずつあたるよう四分した。また下着をも取ったが、それは上から全部一つに織った、縫い目なしのものであった。 ヨハネ 19:23

その冷酷さを想像してみてください。その不名誉な場面を想像してみてください。ある一人の男が、恥ずべき公共の見せしめとして、十字架につけられました。尊厳の一かけらもありませんでした。それに加えて、その男の視界には、彼の衣服を巡って争い合う兵士の姿もありました。

人間の良心が泣き叫んでいます。もう十分です。極悪人でさえ、たいていは、うわべだけの死への尊敬の念を持つでしょう。しかし、イエス様の死には、そのような気持ちがありませんでした。十字架上で、イエス様の屈辱の時間が刻々と続きました。

私は、とても恥ずかしい気持ちでいっぱいになります。なぜなら、その兵士たちは、私のことだからです。彼らは、独善的であり、宗教的指導者たちを注意する者たちのはずです。家族や友人たちは、イエス様の最後の時を、主の敗北として見なししてしまったのです。

十字架のその下において、私たち人間は、真の究極の苦しみを受けます。私たちは、残忍性を和らげるフィルター無しで、真実の姿を見なければなりません。そして、「お父様、どうか彼らをお許してください」という感謝すべき、そして、人生をささげる言葉を聞くことで、私たちは、衝撃を覚えることでしょう。恥ずべき十字架が、神の王座の場所に変わることが証明されるのです。「その代価は払われました。あなたの子どもたちをここへ連れてきなさい」と。

讃美歌 第二編 177

祈り 神様。十字架の話が決して磨れないのはいったいどうしてでしょうか？ あなたの御子が、全人類を救済するために、究極の屈辱に耐えられたのはどうしてでしょうか？ 神様、どうかキリストを通して、私たちの感謝の祈りを聞いてください。アーメン。

ヴァージル・フライ
テキサス州 ヒューストン

今日の方

2014年12月1日~12月7日

翻訳 山田エミ

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月2日(火)

霊性を保つ

聖書朗読 ヨハネ 18:28~32

目の見えぬパリサイ人たち。まず、杯の内側をきよめなさい。そうすれば、外側もきよくなります。
マタイ 23:26

もう一度、今日の聖句の最初の一句を読み返してみましょう。何か、おかしいことに気づきませんか？ この宗教指導者たちは、異邦人の家に入ることによって、自身を汚らしいものにしたくなかったのです。彼らは、間違った非難、鞭打ち、暗殺を明らかに容認しました。それなのに、異邦人の家に入ることは汚らしく容認できないと考えたのです。

私は、昔、不倫をしていたある教会員から、相談をされたことがありました。結局、彼がどうしても話したかったことは、その教会員の妻が彼に従順ではないということに対する怒りでした。どういうわけか、明らかに、不貞は彼の中では容認されていました。しかし、女性が夫に従わないということは、彼の中では容認できなかったのです。

私たちは、らくだは飲み込むけれども、ぶよはこして取り除きます。私たちは、自分たちの目の中の梁よりも、誰かの目の中のちりを取り除こうと一生懸命になっています。

私たち自身の努力で、霊性を一定に保つことは出来ません。それは、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制によって（ガラテヤ 5:22~23）、神の霊が私たちの偽善を打ち負かすのです。神様のはたらきは、私たちの希望です。

偽善とは、高貴な雰囲気をもった偏見である。

—— アンブローズ・ピアース

讃美歌 271

祈り お父様。私たちは、あなたの霊に従い、信仰に生き、あなたの御子にあつて、霊性の一貫性を追い求めます。どうか私たちを祝福してください。
イエス様を通して。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

12月3日(水)

イエスの仲間

聖書朗読 使徒 4:1~14

彼らはペテロとヨハネとの大胆さを見、ふたりが無学な、普通の人であるのを知って驚いたが、ふたりがイエスとともにいたのだ、ということがわかって来た。

使徒 4:13

ある日、礼拝の後に、一人の男性が私にあいさつをするためにやってきました。彼は、私たちの教会を訪問していました。彼は私に尋ねました。「あなたはバールマンさんですか？」私は返答しました。「はい、そうですよ。母の旧姓がバールマンなのです。どうしてご存知なのですか？」。彼は答えました。「あなたの話し方や外見だけで、一目瞭然ですよ」と。

サンヘドリンの議会は、イエス様を十字架の刑につける決定に大きく加担しました。さて、この使徒の働き4章では、主の2人の弟子を議会の真中に立たせました。そうすることで、イエス様の教えの影響を弱体化させようとしたのです。しかし、ペテロとヨハネの証言は、まさにイエス様ご自身が語っているかのような、イエス様を再び思い起こさせるようなものだったのです。ペテロとヨハネは、イエス様と共にいた時には、イエス様を理解することが難しい時も多々ありました。しかし、今日の場面では、この二人は言葉と行いによって完璧にイエス様を証したのです。

人々が、私たちに会った時に、彼らは私たちに何を見るのでしょうか？ 私たちに、イエス様を見出すのでしょうか？ 今日、どうしたら私たちの言葉と行動の中にイエス様を現すことができるのでしょうか？

讃美歌 280

祈り 父なる神様。今日、私があなたのようなことを求め続ける時に、共にいてください。どうか、人々が私たちの言動や行動にあなたを見出すことができますように祈り求めます。どうか、人々があなたに従うように私たちが導けるように用いてください。

イエス様のみ名を通して。アーメン。

ケント・ベンファー
テキサス州 フォートワース

12月4日(木)

とにかく親切に

聖書朗読 使徒 28:1~10

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。
エペソ 4:32

最初の地中海での船の難破の話は、ルカによって、使徒の働きの最後に描かれています。使徒たちと船員たちは、お互いに全く知り合いではありませんでした。しかし、難破した船から全員が救助されましたが、予定外の、そして思いもかけない、マルタと呼ばれる島への到着となってしまったのです。

『島の人々は私たちに非常に親切にしてくれた。おりから雨が降りだして寒かったので、彼らは火をたいて私たちみなをもてなしてくれた。・・・それで彼らは、私たちが非常に尊敬し、私たちが出帆するときには、私たちに必要な品々を用意してくれた。』(使徒 28:1, 10)

パウロは、島の多くの病んだ人々を癒すことで、その親切に報いました。残念なことに、今日の世界では無礼や蔑視が当然のように広がっています。しかし、イエス様は、目には目をという正義ではなく、黄金律によって生きるように教えられました。

もしかすると、私たちは、鏡、机、棚の上に、それを思い出させるものが必要かもしれません。もしかすると、「とにかく親切に」という自動車のバンパーステッカーが必要かもしれません。

親切を行うのに、早すぎることはない。

気がつけば、親切を行いたくともできなくなってしまうのだから。

——ラルフ・ワルド・エマーソン

聖歌 315

祈り 天のお父様。どうか、私たちの確信や違いを愛のないものにしなよように助けてください。今日、イエス様がなされたように、とにかく親切を実践することが出来ますように助けてください。

イエス様のみ名によって。アーメン。

ジョージ・メリット
アラバマ州 トロイ

12月5日(金)

史上最悪の罪：7つの罪

聖書朗読 ローマ 6:12~19

主の憎むべきものが六つある。いや、主ご自身の忌みきらうものが七つある。高ぶる目、偽りの舌、罪のない者の血を流す手、悪な計画を細工する心、悪へ走る速い足、まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いをひき起こす者。

箴言 6:16~19

デイヴィット・レターマン(※)が番組の中で、毎晩トップテンを読み上げるより、ずっとずっと昔、倫理学者や神学者たちが、避けるべき罪や実践すべき美德をまとめ上げました。

イスラエルの伝統の知恵から取られた「7つの忌み嫌うべき罪」は、神様が嫌うものでした。聖句は、うぬぼれ、ねたみ、怒り、なまけ癖、食欲さ、暴飲暴食、そして情欲に関して、確かに多くの箇所で、警告していました。

天国と地獄についての叙事詩を書いたダンテは、このリストを愛に対する侮辱だとみなしました。うぬぼれ、ねたみ、怒りは愛を誤解することから、なまけ癖は不十分な愛から、食欲さ、暴飲暴食、情欲は、この世の物質への必要以上の愛から、発生するものだとしました。

これらのリストを見ることで、私たちは、十字架と私たちの罪の深い関係を理解することが出来ます。イエス様の人生、死、そして、よみがりの中で、神のあふれるばかりの愛が描かれています。私たちは、神様の愛によって、意図的に敬虔さを追い求め、罪の生活をあきらめるように、聖霊に満たされた道徳にかなう人生をするように言われています。どうか、謙虚で聖い人生を求めるといふ召しに耳を傾けて、受け入れていくようにしましょう。

讃美歌 262

祈り 救い主よ。その十字架は私のために用意され、私のどんな罪をもきよめてください。あなたの血は私の罪を覆い、そのおかげで私は自由になることが出来ます。あなたの恵みに感謝します。

イエス様のみ名によって。アーメン。

アンディ・ウォール
カリフォルニア州 オークパーク

※ 訳者注 アメリカで30年に渡り司会者として自身の番組を持ち続けている全米屈指のトップ・コメディアンの人

12月6日(土)

地位を勝ち取る前に

聖書朗読 ローマ 7:14～25

あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

コロサイ 3:2

ある日私の住んでいる街に、突然冬の嵐がやってきました。それはまるでスノーグローブ(※)をひっくり返したかのような光景でした。その日は本来ならまだ秋で、町の木々は葉も落としておらず、冬と言うにはずいぶん早い時期でした。その日一日、木々に残されている葉が象徴している秋と、冷たい嵐が感じさせる冬と、どちらの季節も断固として譲らないでいるかのようでした。

そのような景色を見て、私は自分自身の人生について思い巡らさずにはいられませんでした。「いったい私の人生はどの立場を目指しているのだろうか？」と疑問に思わずにはいられなくなったのです。それはいったい、この世的なものか？ それとも霊的なものか？ 私は神様が私に与えてくださっている人生という時を、神様の栄光のために、温かみのある思い、人間関係、そしてはたらきで満たしているだろうか？ それとも冷たい自己中心的な考えや、思いやりのない気持ちで、私の心はいっぱいではないだろうか？

しかし、使徒パウロも同じことで悩んだことを知ること、私たちはほっとした気持ちになります。ローマ人への手紙7:25では、パウロは『私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。』と述べています。パウロは、イエス様が物事を正すためにいらっしゃったのだと、私たちに確信させます。

だから、あなたの人生において何らかの葛藤が起こった時、どうか立ち止まってみてください。そして、深呼吸して、考え直してみてください。イエス様に目を留め、そして人生を導いていただきましょう。

讃美歌 第二編 159

祈り 神様。どうか、全ての迷いや悩みの中でも、イエス様につながっているように助けてください。

イエス様のみ名を通して。アーメン。

シェリル・ベーカー

インディアナ州 ラポータ

※ 編集者注 球形の透明なガラス容器の中に建物の模型や人形、白い粉を入れ水を満たし、動かすと舞い上がった粉が雪のように降りてくる仕掛けになっている置物。

12月7日(日)

投資する時

聖書朗読 ローマ 12:9～21

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。 箴言 3:5～6

以前、私はある有名な飲料メーカーの一株を購入しました。もしかすると、あなたは今日そのメーカーの飲み物を飲んだかもしれません。そのくらい有名な会社なのです。それは約10年前のことでした。私はその配当金を再び投資しました。今、私は3株を所有しています。私は約3倍になったお金を手にし、配当金で1年間に3ドルを得ることが出来ます。私は成功しました。私は何か間違ったことをしましたか？ はい、私はそれに十分投資しなかったのです。だから私の成功は限られたものとなってしまったのです。

私たちはある重要な人間関係や試みを軽くみなしてしまうことがあります。私たちの神についての思いを抑制すると、緊急のことに、私たちはほとんどの力を費やしてしまいます。近親者への関心は後回しになってしまいます。この大きな仕事が終わった、というまで、親切さも除外されてしまいます。もし、私たちが利益を受け取るのなら、私たちはより良いことに寛大に投資するべきでしょう。

これをあなたが読んでいるということは、あなたが長続きする真に大切だということに関心を払っているということです。その投資は、今日あなたの心や精神のなかで育つでしょう。神様のお言葉は私たちを変えます。神様の愛は私たちを成長させます。それは、永遠に成長する時間と配慮への投資なのです。

讃美歌 291

祈り 神様。あなたの愛と恵みに私たちは圧倒させられます。私たちがそれらを深く考える時、人生において、それらを必要とし、共有されなければいけない多くの機会を思い起こします。本当に感謝します。

イエス様の祝福された御名によって祈ります。アーメン。

ジョージ・F・ドーテリー

テキサス州 タイラー